

別紙 令和8年度「ぐんまAgri × NETSUGEN共創」実証事業 評価基準書

大項目	評価の視点
◎目指す姿（配点20）	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 課題設定や提案内容が事業目的に沿った内容である。 <input type="radio"/> 事業の目標設定が明確であり、実証する機械・資材・技術サービス等が具体的に盛り込まれているか。
◎革新性（配点10）	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 実証する技術・サービスが革新的であり、解決策は群馬県の特徴等に合わせカスタマイズして実証可能か。 (既存機械やシステム等であっても、設定変更等で対応可能なものも含む)
◎確実性（配点45）	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 適切な実施体制となっており、確実な実証が期待できる配置等となっているか。 <input type="radio"/> 代表提案者及び共同事業体における役割分担が明確化されているか。 <input type="radio"/> 実証する技術・サービスに類似業務の適正な実績又は優位性が認められ、技術確立及び実装が期待できるか。 <input type="radio"/> 実証する技術の効果分析に必要なデータの種類や収集方法が具体的に盛り込まれているか。 <input type="radio"/> 実証スケジュールに実証品目の栽培時期等の外部要因も含め明記されており、確実な業務実施が期待できるか。
◎普及性（配点20）	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 実証する機械・資材・技術サービス等の導入経費や収益向上の観点から、農業経営体等にとって使いやすいものであるか。 <input type="radio"/> 本実施業務で実証された技術は、他品目、県内他地域等への活用等が期待できるか。 <input type="radio"/> 実証された技術を今後県内へ広く普及させる予定・計画があるか。（県内の農業特性、重要なステークホルダーとの関係構築等を踏まえた根拠等）
◎費用対効果（配点5）	<ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 経費の内訳は、業務内容に見合った額となっているか。